

洛再*Links*

Menu Book

2026-27

京都府立**洛西**高等学校

目 次

○ 洛再 Links って？	p.3~4
○ ジェンタニバスターズプロジェクト	p.5
○ Links ひまわりプロジェクト	p.6
○ 堆肥・腐葉土作り	p.7
○ 地域一斉清掃	p.8
○ 地域清掃ボランティア活動（プロギング）	p.9
○ 種まきから始める「京藍染め」	p.10
○ ペンキプロジェクト	p.11
○ 京都大学フィールド研「里山おーぷんらぼ」への参加	p.12
○ 子ども向けワークショップの企画運営	p.13~14
○ 企業コラボ企画 プログラミングから作るドローンショー	p.15
○ 留学生との国際交流	p.16
○ 「服活」服の循環プロジェクト	p.17
○ ごみの学校「グリーンラーニングプログラム」への参加	p.18
○ 放置竹林活用プロジェクト	p.19
○ 綿花栽培 京木綿プロジェクト	p.20
○ いもづるプロジェクト	p.21

○ 洛西循環まつり「洛サイクル」	p.22
○ 農業体験	p.23~24
○ マルシェ体験	p.25
○ お祭りの運営ボランティア	p.26
○ 時々ある謎の企画	p.27~28
○ カブトムシ親善大使プロジェクト	p.29

学校は大きな実験室 (Laboratory)

**洛西高校の“実験室”を
LinksLabo と呼びます。**

**実験には失敗がつきもの。
でも、挑戦するから失敗があるのです。**

**LinksLabo では
「失敗」 = 「挑戦」 と読みかえます。**

**洛再Links の様々な活動は
Labo で行う実験。**

**より多くの「失敗」 = 「挑戦」をして
くれることを期待しています。**

☆活動概要 What's Links?

- ・教科書は地元地域、地域の再発見を通して自分と世界を再発見する体験型探究プログラム。
- ・さまざまな体験を通して「もの」、「ひと」、「社会」との、「つながり(=Link)」を増やし、「Link」を複数形(Links)にしていく。
- ・洛再 Links に込められた意味
洛=京都=地元地域
再=再発見、再構築、再生……
Links = (Local・Information・Network・Knowledge・Sustainable)

Gate Links

1 年生全員が参加する Links 入門編の活動。『ジャンタニバスターズ』『大原野ひまわり畑』『落葉堆肥、腐葉土作り』の連続する三つの取組からなる『地域資源循環プログラム』に取り組みます。

Plus Links

自分の意思で参加を決める主体的活動。放課後や土日の活動になります。『地域資源循環プログラム』から派生する『ジャンタケ肥料活用』『カブトムシ親善大使』『動物園コラボ』『焼きイモ大会』の他、『公園清掃ボランティア』『種まきから始める京藍染め』等のさまざまなプログラムがあります。

洛再 Links 同好会

自分が Links 活動に参加するだけでなく、学校外の様々な人や団体(行政機関、大学、企業等)と連携を取りながら、Links 活動そのものの企画や運営にも携わります。

☆プログラムへの参加方法

- ・ **Plus Links** の案内は Classi、教室掲示、校内放送等でお知らせします。
申し込みは、総務企画部 Q 課、Classi 等で受け付けます。

☆参加したプログラムの振り返り

- ・ Classi のアンケート等を活用し取組内容や気づき、疑問点などを書き留めていきます。
この「振り返り」が、2 年生での探究学習、3 年生で取り組む「志望理由書」や「推薦入試時の小論文、プレゼン発表」の基礎データとして活用できます。

☆主な活動

○ ジャンタニバスターズプロジェクト

- ・目的 外来種であり、水田の害獣でもあるジャンボタニシの駆除とその有効活用を目指す。
- ・活動場所 学校近くの田んぼ Links 広場
- ・Link 地元農家 洛西支所地域力推進室 南部農業振興センター 京大フィールド研
- ・内容 4月にジャンタニ捕獲用の「トラップを準備」します。5月のゴールデンウィーク明けにトラップをしかけるとともにすくい網でジャンボタニシの「捕獲」を行います。集まり具合を見て竹と一緒に燃焼させ「竹炭ジャンタニ肥料」を作ります。燃焼実験では植物の育成に最も効果のある配合を探ります。スイカとオクラで実験しましたが、大きさについては目で見てははっきりと分かる違いが確認できました。まだまだ謎の多いジャンボタニシなので、今後も継続して生態調査を行うと同時に将来的には成分分析など科学的アプローチも視野に入れ、課題の解決に挑戦します。



○ Links ひまわりプロジェクト

- ・目的 高校生と地元農家の協働による地域の活性化を目指す。
- ・活動場所 Links 広場 大原野ひまわり畑 京都市動物園
- ・Link 地元農家 洛西支所地域力推進室 ボランティアさん 京都市動物園
- ・内容 地元地域の住人で構成される「なんやかんや大原野」推進協議会が企画する地域イベント『え！？今頃ひまわり大原野』の運営を農家さんと協働して行います。具体的には、5月頃にひまわり畑の洛西高校担当スペースのデザインやひまわりの品種を決定します。8月にLinks 広場で「Links 落ち葉堆肥」を苗床に使い、「種まき」を行います。2週間ほど育てた後、9月下旬頃に大原野ひまわり畑で農家さん、ボランティアのみなさんと「苗植え」を行います。10月の「開花」まで数回の「除草作業」に取り組みます。イベント後、枯れたひまわりの「片付け」を行います。その際、回収したひまわりの種は、「京都市動物園に寄付」し小動物たちの餌として活用していただきます。



○ 堆肥・腐葉土作り

- ・目的 街路樹から出る落葉を資源として活用し、さまざまな Links 活動に使用する。
- ・活動場所 Links 広場
- ・Link NPO 法人京都発・竹・流域環境ネット 洛西支所地域力推進室
- ・内容 11月下旬に行う「地域一斉清掃」で学校周辺の「落葉を回収」します。12月下旬 Links 広場でNPO 法人京都発・竹・流域環境ネットさんの協力のもと、「竹チップ堆肥」など数種類の堆肥の仕込みを行います。種類によって数日後には温度が70℃近くまで上昇します。6～10ヶ月で「堆肥」ができあがり、2年で栄養豊富な「腐葉土」が完成します。「堆肥」や「腐葉土」は「ひまわり」「花いっぱい」「京藍染め」「カブトムシ大使」等のさまざまなプロジェクトで活用されます。



○ 地域一斉清掃

- ・目的 学校周辺の落ち葉を回収することによる地域貢献。
- ・活動場所 学校周辺のケヤキ・イチョウ並木
- ・Link 洛西ニュータウンのみなさん
- ・内容 11月下旬の放課後、全校生徒、及びPTAの保護者さんで学校周辺のケヤキやイチョウ、サクラなど街路樹の落葉を回収します。洛西高校が長年取り組む伝統行事となっている取組。少子高齢化や人口減少が進行する中でのシンプルな地域貢献活動です。回収した落葉の一部を Links 広場で堆肥化させ、ひまわりプロジェクトや野菜作りなど Links 活動の様々な取組に活用します。



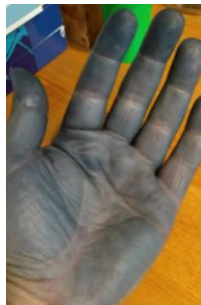
○ 地域清掃ボランティア活動（プロギング）

- ・目的 清掃ボランティア活動に参加し地域住民との交流を図る。ゴミ拾いを楽しくする。
 - ・活動場所 大蛇ヶ池公園 小畑川公園 新林池公園 洛西高校周辺
 - ・Link 公園愛護協力会 ナンキンハゼの会 京都市建設局北部みどり管理事務所 プロギングジャパン
 - ・内容 毎月一回行われる洛西ニュータウン内の2つの公園の清掃活動に取り組みます。公園ごとに清掃活動に取り組むボランティアグループがあり、そのメンバーの方々と一緒に活動します。取組時間は土曜日の朝9時からの40～60分程度と Links 活動の中で最も「手軽」に参加できる取組です。しかし、ここには洛西ニュータウンが抱える「少子高齢化」「人口減少」など日本が直面する最先端の課題を考えるヒントがあります。
- 令和7年度からは、「プロギング」という活動も始めました。「プロギング」とは、ゴミ拾いとジョギングを合わせた新しいフィットネスで、すでに世界100か国以上で楽しまれているそうです。ただゴミを拾うのではなく、楽しむことも忘れずに活動しています。



○ 種まきから始める『京藍染め』

- ・目的 藍の栽培から藍染め作品の完成までの工程を体験することで京都の伝統産業の現状、大原野地域の自然環境、ビジネスモデルとしての京藍染め、そして作家さんの生き方について学ぶ。
- ・活動場所 Links 広場のミニ藍畑 上里の藍畑 大原野スタジオギャラリーの藍染め工房
- ・Link 京藍染め師 松崎陸氏 工程に関わるすべての皆さん
- ・内容 大原野地域で伝統産業である京藍染めに取り組む藍染め作家の松崎氏の指導を仰ぎ、土作り、種まきから藍の栽培、収穫、染料の取り出し、そして藍染め作品の制作までの全ての工程を体験します。珍しい紅花染めにも挑戦しました。



○ ペンキプロジェクト

- ・目的 高校生、地域住民、行政の三者協働で地域の魅力向上を目指す。
- ・活動場所 洛西ニュータウン内の各公園
- ・Link 地域住民 土木事務所 公園愛護協会の暮らしランプ 洛西支所
- ・内容 ニュータウン内の様々な公園の色あせた遊具やベンチ等をペンキでカラフルに塗り直す活動です。地域住民と事前にコミュニケーションワークを行い、目指す公園の形を決めていき、ペイント当日は焼きイモや昔遊びゲーム等のイベントも企画して盛り上げます。取組の背景にはニュータウンで進む少子高齢化、京都市の財政難など重い課題があるのですが、さまざまな立場の「ひと」が関わる活動にしていくことで、コミュニティにとっては絆の深まり、高校生にとっては教室では学べない貴重な体験、行政にとっては財政負担の軽減など「三方良し」の活動となっています。



○ 京都大学フィールド科学教育研究センター『里山おーぶんらぼ』への参加

- ・目的 大学が主催する市民参加型のラボ企画に参加することで、高校内では体験できない学びを体験する。
- ・活動場所 京大フィールド研 上賀茂試験地
- ・Link 京大フィールド研 ラボに参加する多様な個人・団体 大学生・大学院生
- ・内容 森里海連環学をベースに上賀茂試験地の一山を実験施設=LABORATORYに見立て、人と自然のあり方をさまざまな角度から体験を通して考える活動に参加します。大学教授、大学院生、学部生などとの交流を通して大学の学びに直に触れる機会となっています。



○ 子ども向けワークショップの企画運営

- ・目的 校外のイベントへの参加を通して、企画力、コミュニケーション能力、発信力等、社会で必要とされるさまざまな能力を磨く。
- ・活動場所 梅小路公園、京都パルスプラザ、イオンモール等で行われるイベント会場
- ・Link 企業、団体、京都大学、海洋高校、徳島県立那賀高校、行政機関、NPO 法人
- ・内容 梅小路公園で行われる「循環フェス」等の地域イベントや環境系イベントにブースを出し、主に子ども向けのワークショップを行います。使用する素材は竹や松ぼっくり、廃材となる布の端切れ、廃棄される厚紙など環境に配慮したものを選んでいきます。今までに、「松ぼっくりXmas ツリー」「竹ぼっくり」「端切れを使ったミサンガ作り」等を提供し、好評を得ています。秋の「循環フェス」では海洋高校・那賀高校とコラボし、巨大松ぼっくりとシーグラス（海洋ゴミ）を使ったXmas ツリーに加え、服の端切れで作ったクリスマスリースの装飾をするワークショップを実施しました。





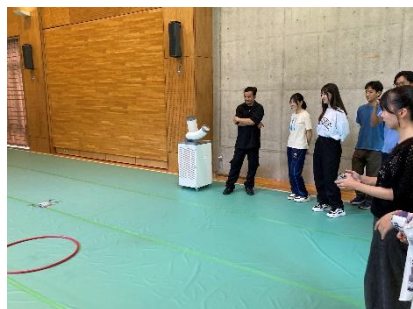
○ 企業コラボ企画 プログラミングから作るドローンショー

- ・目的 地元企業と連携し、地域活性化のイベントにドローンショーの企画・運営を通して貢献する。
- ・活動場所 洛西高校 地域のイベント会場
- ・Link (株)東洋音響 地元住民の皆さん
- ・内容 地元企業のバックアップを受け、ドローン飛行のプログラミングを学ぶところからスタートし、洛西高校グラウンドでのドローンショー発表まで取り組みました。8ヶ月に及ぶ準備期間を経た本番では、洛西の夜空に四季の移り変わりをテーマにした様々な作品を映し出しました。



○ 留学生との国際交流

- ・目的 外国人留学生と交流することで、お互いの国のことや生活、文化の違いについて理解を深め、グローバルな視野の育成、語学力やコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・活動場所 京都西山短期大学
- ・Link 外国人留学生 短期大学教員
- ・内容 京都西山短期大学の留学生と遊びを通して異文化交流を深めます。8月にはドローン操縦体験、1月にはネパール料理作りを協力して行うなかで、英語をメインに、ジェスチャーも交えながら交流しました。



○ 『服活』服の循環プロジェクト

- ・目的 服の循環を通して環境負荷の低減やコミュニティ内でのつながり作りに取り組む。
- ・活動場所 イオンモール京都桂川、地域のイベント会場、洛西高校
- ・Link 洛西高校生 地域の皆さん
- ・内容 不要になった「まだ着られる服」を回収し、循環させることで「服」による環境負荷の低減に取り組みます。さらにそれを目の届く、手の届く地域コミュニティ内で行うことで人と人とのつながりの向上も目指します。イオンモール京都桂川で行うオープン文化祭や高校生として参加する地域イベント等の際に「服の循環ブース」を出店します。



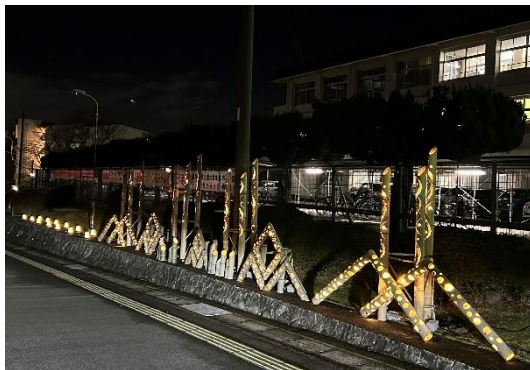
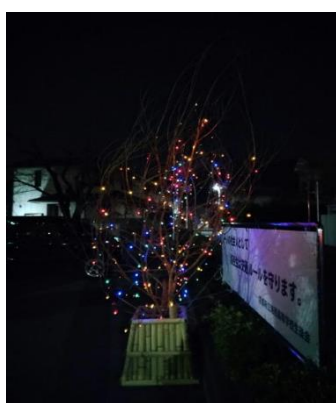
○ ごみの学校『グリーンラーニングプログラム』への参加

- ・目的 ゴミ問題を正しく捉え、ワークショップを通じてリサイクルの現状等について学ぶ。
- ・活動場所 Circular Kameoka Lab（亀岡市）
- ・Link ごみの学校 行政機関 地域住民の皆さん
- ・内容 亀岡市にある「Circular Kameoka Lab」で月に1回ほど開催されている「グリーンラーニングプログラム」に参加し、ワークショップ形式でゴミ問題について考えます。服やプラスチックが生まれ変わる行程を体験してみたり、カードゲームを通してゴミの素材について学んだり、体験的にゴミ問題を学ぶことができます。



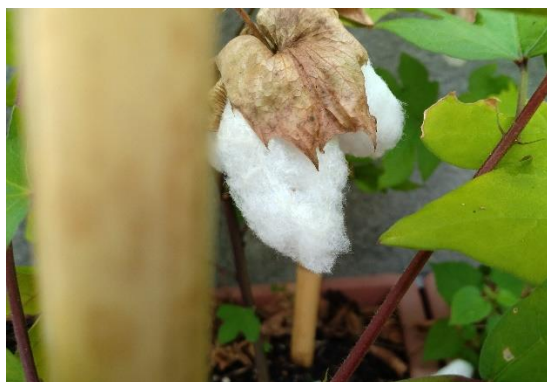
○ 放置竹林活用プロジェクト

- ・目的 地域のシンボルである竹について楽しみながら学び、竹を利用したモノづくりを通してその魅力を地域に発信する。
- ・活動場所 洛西高校校門周辺 NPO 法人京都発・竹・流域環境ネットさんの工房
- ・Link NPO 法人京都発・竹・流域環境ネット 地域住民の皆さん
- ・内容 地域の課題である放置竹林の解決に向けて、NPO 法人京都発・竹・流域環境ネットさんに協力していただき、様々な竹の活用方法に挑戦しています。今までに取り組んだものとしては、放置竹林の伐採体験、タケノコ掘り体験、竹灯笼づくり、竹イルミネーションづくり、竹炭づくり、竹と落葉の堆肥づくりなどがあります。また、活動で残った竹はジャンタバスターズプロジェクトでの燃焼実験に使用し、ジャンタケ肥料をつくります。



○ 綿花栽培 京木綿プロジェクト

- 目的 綿花を育てることを通して環境、経済、文化について学ぶ。
- 活動場所 Links 広場
- Link おちこちや京木綿 綿花を育てるボランティア
- 内容 着物の古着のリサイクルにも取り組む、「おちこちや」さんが手がける京木綿プロジェクトに参加しています。いただいた和綿花の種を校内で育て収穫した綿をおちこち屋さんに預けます。その綿が糸になり布になり着物になります。一連の流れを体験することで自分たちの「服」に対する考え方が大きく揺さぶられます。



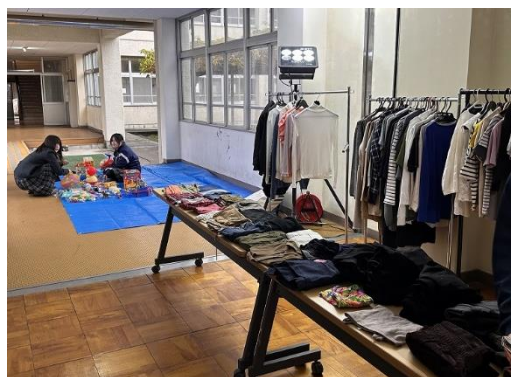
○ いもづるプロジェクト

- 目的 育てたサツマイモで人と人とのつながりをつくる
- 活動場所 滋賀県守山市ラトナファーム
- Link ラトナファーム 寶幢寺 プロジェクトに参加するボランティアの皆さん
- 内容 京都のお寺「寶幢寺」さんの発案で生まれた「いもづるプロジェクト」賛同する無農薬栽培農場「ラトナファーム」さんの畑でサツマイモを育て、できたサツマイモを地域イベントで焼きイモにしたり、洛西高校名物の年末焼きイモ大会に使うことで人と人、人と地域のつながりを広げていきます。草刈りなどの作業にも参加し、秋にはもちろん芋掘りに参加します。



○ 洛西循環まつり『洛サイクル』

- ・目的 環境循環イベントを企画・運営することで、環境意識の啓発を図ると同時に、企画力、コミュニケーション能力、発信力等、社会で必要とされるさまざまな能力を磨く。
- ・活動場所 本校の駐輪場スペース・廊下
- ・Link 地域住民の皆さん
- ・内容 まだ使えるけれど捨てられそうになっている衣類や食器、絵本、おもちゃなどを回収し、必要としてくれる方々へ無料で配布します。同時に、松ぼっくりツリーや、布の端切れで行うミサンガづくり、竹で作った弓で行う的当てなど、子どもたちが楽しめそうなワークショップを実施したり、焼き芋を配布したりするなど、来場者に楽しんでいただけるような企画を考えます。校内で実施することで、高校生と地域のつながりを広げていきます。



○ 農業体験

- ・目的 農業体験を通して「食」や「環境」について考える。
- ・活動場所 地域の畑、田んぼ、ビニールハウス
- ・Link BNRファーム オーガニックnico クロスケの大原野げんき畑
- ・内容 環境に配慮した農業を展開する地元の農業企業やグループが行う農作業を体験します。野菜の栽培や収穫を実際に体験することで、「食」「農業」「環境」「社会」等の様々な切り口から大切な学びを得られます。





○ マルシェ体験

- ・目的 企業・団体が出店する「マルシェ」の運営に参加することで経済活動の基礎を学ぶ。
- ・活動場所 さまざまなイベント会場 京都信用金庫QUESTION
- ・Link 企業 お客さん
- ・内容 企業・団体がイベント会場やQUESTION(京都信用金庫)等で出店する「マルシェ」の運営に参加します。実際に販売の仕事を行い商品の説明も行います。同時に企業の方から経営に関するさまざまなお話を聞くことができます。



○ お祭りの運営ボランティア

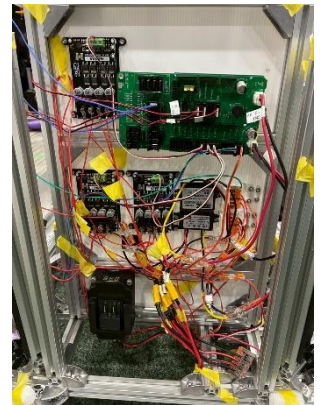
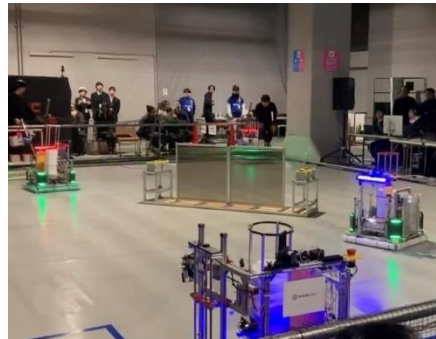
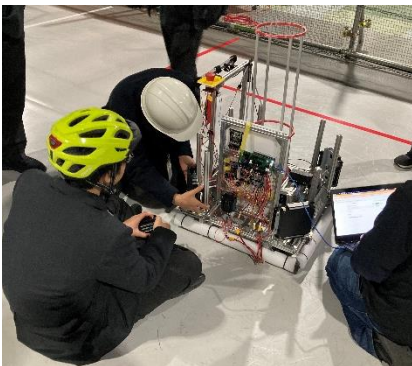
- ・目的 商店街などで行われるお祭りのお手伝いをする事で、学校では出会えないような方々と触れ合い、社会で必要とされる力を身に付ける。
- ・活動場所 嵯峨嵐山商店街 コミュニティ・バンク京信（西陣支店）
- ・Link 企業 団体 行政機関 地域住民の皆さん
- ・内容 嵯峨嵐山商店街の夏祭りや西陣フェスなどに出品される屋台（金魚釣り、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、輪投げ、射的など）の運営を高校生が行います。子どもたちに楽しく参加してもらえるように声をかけたり、嵐山観光に来られた外国人観光客の方々に英語で説明したり、様々な人と交流することができます。



○ 時々ある謎の企画

- 目的 固くなった頭を柔らかくする。
- 活動場所 洛西高校 Links 広場 大原野周辺のため池
- Link 謎
- 内容 ① なぜか、ウマが学校の中庭に2泊3日
② なぜか、中庭で小学生がショベルカーを運転
③ なぜか、ため池で魚釣り
④ なぜか、普通科でロボットを製作





○ カブトムシ親善大使プロジェクト

- ・目的 Links 広場で生まれたカブトムシをちびっ子にプレゼントすることで地域と交流する。
- ・活動場所 Links 広場 近隣の幼稚園、保育園、小学校
- ・Link 地域の児童施設 地域のちびっ子達
- ・内容 Links 広場でつくる「堆肥の中から生まれたカブトムシ」を近隣の幼稚園、保育園、小学校にプレゼントします。竹チップ堆肥にだけ生まれるカブトムシの幼虫を育てます（見守るだけ）。12月頃にLinks 広場の「カブトムシランド」に引っ越しさせます。7月頃に生まれてくるカブトムシを捕獲します。「地域の幼稚園、保育園、小学校等」に電話をかけ、プレゼント企画の趣旨を説明し訪問の「アポイント」を取り、実際に訪問し、ちびっ子達にカブトムシをプレゼントし交流を図ります。



洛再見
創造
Links